

## 報告

## 九州・国際テクノフェアIT2002

廣田 豊彦  
Toyohiko HIROTA

九州産業大学 情報科学部 社会情報システム学科 教授  
Faculty of Information Science, Kyushu Sangyo University  
hirota@is.kyusan-u.ac.jp, http://www.is.kyusan-u.ac.jp/~hirota/

## 出展の経緯

表記の展示会への出展の案内があり、いろいろと検討した結果、情報科学部を宣伝するよい機会だということで、出展することになりました。一般には大学の研究成果などを展示するのですが、情報科学部は発足間もないため、学部の研究成果はまだありませんが、講義記録システムとその利用について紹介することになりました。

## 出展準備

9月24日に西日本総合展示場会議室で出展者説明会がありました。ポスターを展示するだけでもいろいろな書類を提出する必要があることが判明しました。ネットワークに接続するためには電話を架設する必要があり、工事業者との電話による打ち合わせもありました。NTT系列の工事会社であるにもかかわらず、担当者がネットワーク用回線に関して誤解しているというようなこともありました。

## 出展

下記のような形態で開催されました。

名称 九州・国際テクノフェアIT2002  
会期 2002年11月12日(火)～14日(木)10:00～17:00  
会場 西日本総合展示場新館(北九州市小倉北区浅野3-8-1)

情報科学部では、3枚のパネルを展示するとともに、ノートPCを持ち込んで講義記録システムのオフラインデモを行いました。

搬入は前日の11日に、搬出は最終日14日の展示会終了後に行いました。展示会当日の説明・案内は、1日を午前と午後に分け、3日間で6人の教員が分担して担当しました。

## 反省点

苦労してネットワーク接続を確保したのですが、今回のような展示内容の場合、必要ありませんでした。講義

## JABEEについて

日本技術者教育認定機構 (略称: JABEE)	認定基準
Japan Accreditation Board for Engineering Education	基準1 学習・教育目標の設定と公開
設立: 1999年11月19日	基準2 学習・教育の量
技術系学協会と密接に連携しながら技術者教育プログラムの審査・認定を行う非政府団体。	基準3 教育手段
	基準4 教育環境
	基準5 学習・教育目標達成度の評価
	基準6 教育改善
JABEEの目的	技術者に要求される能力
統一的基準に基づいて高等教育機関における技術者教育の認定を行い、その国際的な同等性を確保するとともに、技術者教育の向上と国際的に通用する技術者の育成を通じて社会と産業の発展に寄与することを目的とする。	JABEEでは、以下の8項目を学習・教育目標に含むことを求めている。
	(a) 多面的に物事を考える能力とその素養
	(b) 技術者倫理
	(c) 基礎知識とそれらの应用能力
	(d) 専門技術に関する知識とそれらの应用能力
	(e) デザイン能力
	(f) コミュニケーション能力
	(g) 自主的、継続的に学習できる能力
	(h) 与えられた制約の下で仕事を進め、まとめる能力
認定とは	
以下の二つを実施し、基準を満たしている技術者教育プログラムを公表する。	
(1) 各技術者教育プログラムで技術者教育の質の保証が確実になされているかどうかの確認。	
(2) 保証されている水準が定められた認定基準以上かどうかの審査	

九州産業大学情報科学部は、2006年度に認定申請が可能になります。そのときただちに申請できるように準備を進めていきます。

記録システムに注目が集まりました。ノートPCだけではなく、大型のディスプレイを持ち込んだほうがよかったかもしれません。JABEEについてはあまり注目を集めなかったようです。まだ学部内でも(当時は)十分に周知していなかった面があったためかもしれませんが、今後いろいろと宣伝していく必要があると感じました。

### 九州産業大学情報科学部

#### 教育目標

・情報科学・情報技術の基礎を確実に身につけ、高い倫理観を持った職業人として社会に貢献する人材の育成。

・社会の仕組みや人間の特質を知って情報技術を適切に適用できる能力を持った人材の育成。



情報科学部棟

#### 総合科学科目

社会科学系科目・人文科学系科目・自然科学系科目の総合科学科目をベースに、社会や人間について幅広い知識を身につけ、理解を深めます。



プログラミング演習

#### 専門教育科目

全員が情報科学の基礎知識・技術を習得した後、3年次後期から、より専門性の高い学科独自の専門展開を学びます。

#### 社会情報システム学科

社会を十分に理解し、私たちの生活に本当に必要な情報システムの設計・開発が行える人材の育成をめざします。



ハードウェア系科目の講義

#### 知能情報学

人間の能力を援助し、快適なヒューマンインターフェイス環境を構築する人材の育成をめざします。



## 九州産業大学 情報科学部 講義記録システム

九州産業大学 情報科学部 情報科学部URL: <http://www.is.kyusuan-u.ac.jp/>

#### 一 講義記録システム

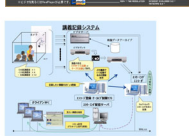
本学部の新しい取り組みの一環として、情報科学部の全講義室で行われる授業をデジタル化することで講義記録システムを導入しました。本システムの目的は二つあります。ひとつは学生が復習したい時に、いつでも利用できるということです。もうひとつは、教員が自分の講義を動画・音声・静止画の先生が思い通りに学ぶという相互の研修の材料にしたいということです。

「講義記録システム」は、情報科学部棟の全17講義室にカメラとマイクを設置し、映像と音声ストリーミングエンコードでRealVideoのストリーミング形式に変換して、記録およびWeb配信しています。このシステムは、事前に講義のスケジュールを登録しておけば、講義の収録からWeb配信まで自動実行可能です。またデータベース管理しますので、講義収録の検索・視聴がWebブラウザ上で簡単に実行できます。

このシステムを導入により、学生はWebブラウザ上で講義の内容を自由に視聴でき、復習や自由に活用することが可能になりました。情報科学部の講義には、学生による参加形式のものも含まれているので、自分の学習管理とメニューすることによる、学習効果も期待しています。また、ライブ中継での配信も行ってあり、その講義を受講していない学生もリアルタイムで講義を視聴することができます。全ての講義内容をサブプログラムとして保存しているため、貴重な映像資料として、さまざまな活用方法を検討しています。

講義記録システムは、一部に、講義の収録からWeb配信まで自動実行が可能です。また、データベース管理しますので、講義収録の検索・視聴がWebブラウザ上で簡単に実行できます。

Webブラウザ上で、講義を視聴することができます。復習したい時に、いつでも利用できるという点も、学習効果も期待しています。また、ライブ中継での配信も行ってあり、その講義を受講していない学生もリアルタイムで講義を視聴することができます。



講義記録システムは、一部に、講義の収録からWeb配信まで自動実行が可能です。また、データベース管理しますので、講義収録の検索・視聴がWebブラウザ上で簡単に実行できます。

Webブラウザ上で、講義を視聴することができます。復習したい時に、いつでも利用できるという点も、学習効果も期待しています。また、ライブ中継での配信も行ってあり、その講義を受講していない学生もリアルタイムで講義を視聴することができます。

九州産業大学 情報科学部 講義記録システム 詳細説明と特徴